

北海道を中心とした円形校舎の現状比較

—北海道と円形校舎の関連性—

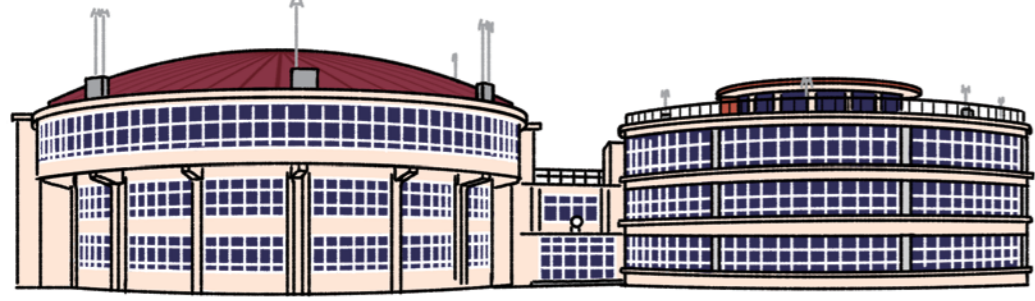
建築・環境デザイン学科 津村研究室 192020 澤口有紀

01 研究の背景・目的

私の地元の北海道室蘭市にある円形校舎、室蘭市立絵鞆小学校を調べた際に、絵鞆小学校以外にも円形校舎が全国各地に建てられていることを知った。また、円形校舎は**坂本鹿名夫**という人物が特許を取得し、全国各地に建てられている中でも北海道の建築数が多いことがわかった。

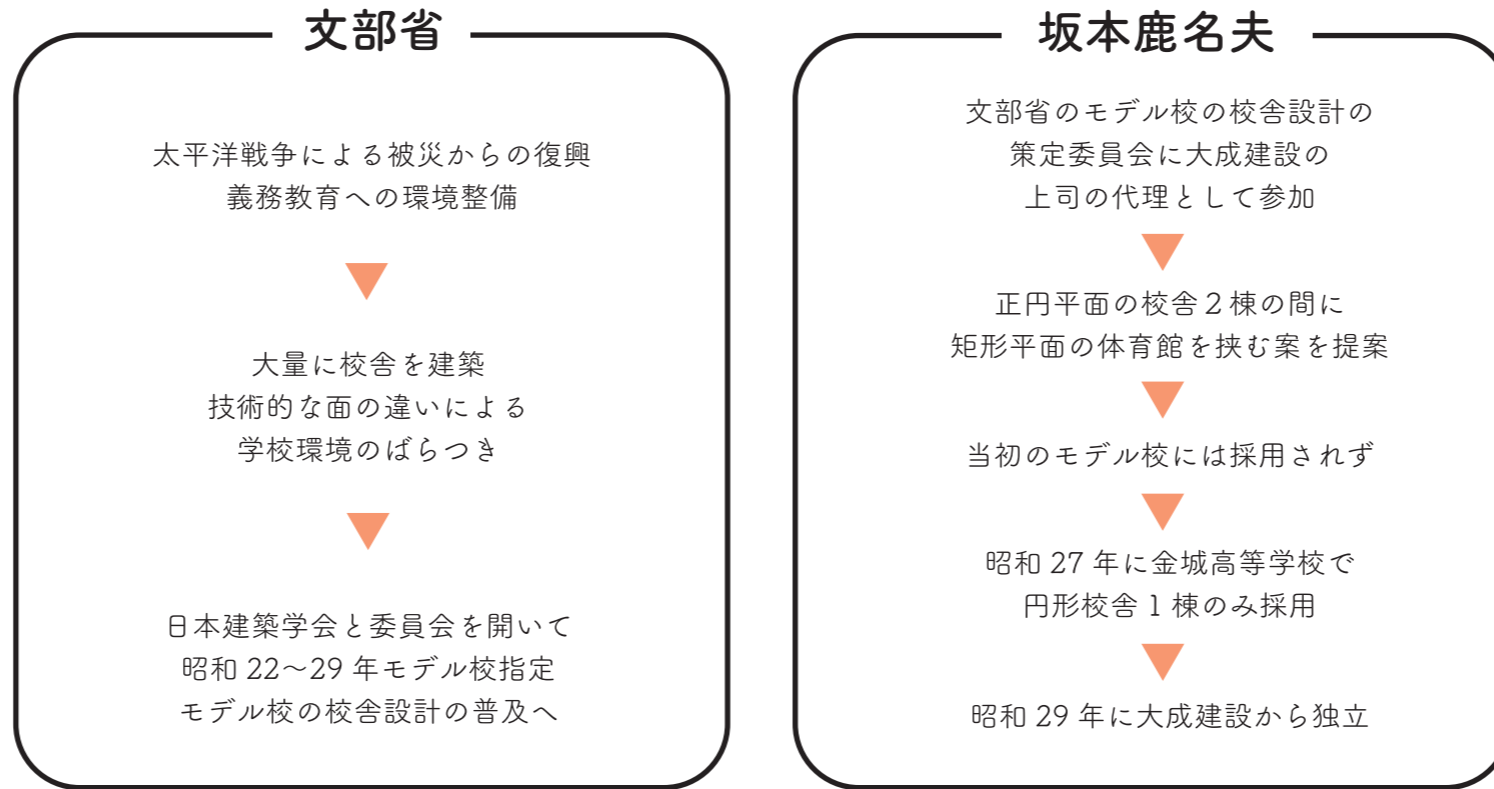
また、昭和30~40年代に多く建てられた円形校舎は近年、解体されていくものも多く、室蘭市の絵鞆小学校も解体の危機に迫られたが、市民によるクラウドファンディングによって、その危機を免れた。

この研究で、全国各地の円形校舎と同様に、北海道でも円形校舎の解体が進んでいく可能性が高い中で、北海道の円形校舎の現状をまとめ、なぜ北海道に円形校舎が多く建てられたのかを探り、円形校舎の価値認識や保存活用へのヒントとなる資料の作成や考察を行いたいと考えてに至った。



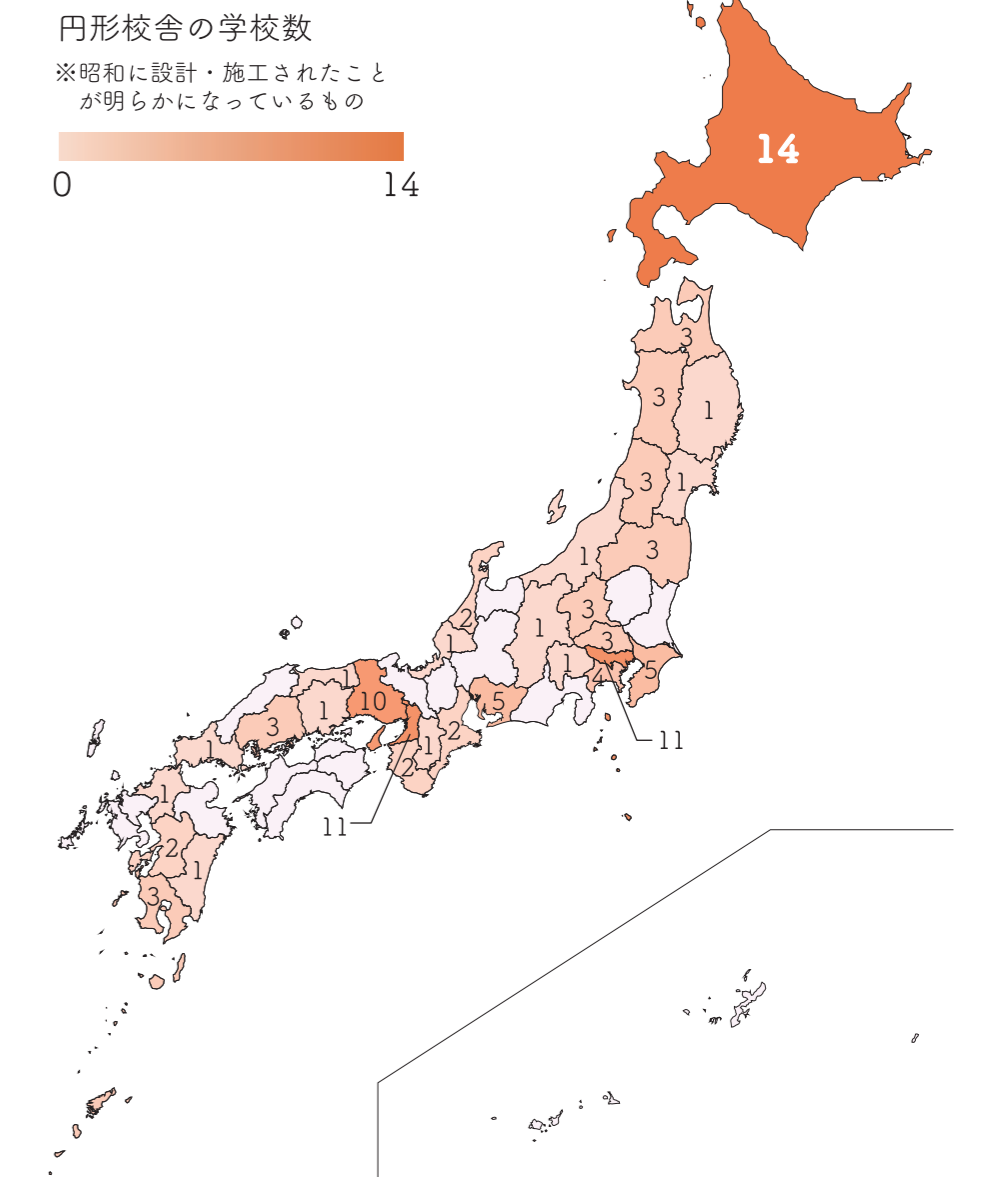
室蘭市の円形校舎 絵鞆小学校

02 円形校舎とは



昭和22年頃からのベビーブームによって昭和30~40年代に教室不足が深刻化
円形校舎は工期が短く、経済的に教室不足を解決できるとして全国で流行
全国で**110**校以上建てられた

03 円形校舎の全国分布



04 円形校舎の形状

単円型

坂本鹿名夫が手がけた円形校舎の中で最も多い形状で、最上階にドーム型屋根の体育館が設けられているものもある。単円型の円形校舎を建てた後に、矩形平面の校舎や体育館を建てている場合もある。

(例) 鳥取県倉吉市 明倫小学校

メガネ型

坂本鹿名夫が手がけた円形校舎の中で単円型に続いて多い形状で、2棟とも教室棟となっている場合、どちらか1棟の最上階にドーム型屋根の体育館が設けられている場合がある。メガネ型の円形校舎の教室棟の間に矩形平面の体育館が設けられているものもあり、これは坂本鹿名夫が初めて円形校舎を提案した時に実現できなかった形状に近い。

(例) 北海道室蘭市 絵鞆小学校
青森県むつ市 大湊小学校 (矩形体育館あり)

半円型

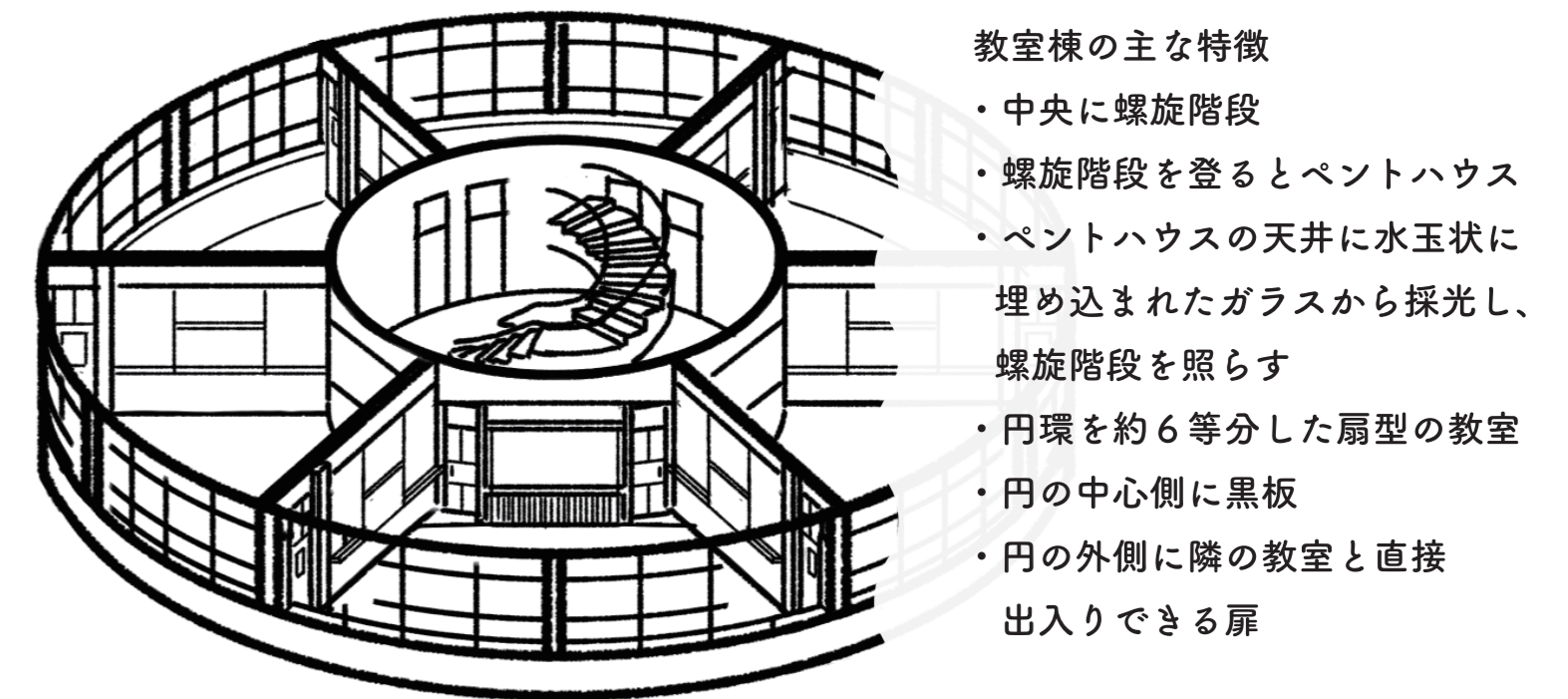
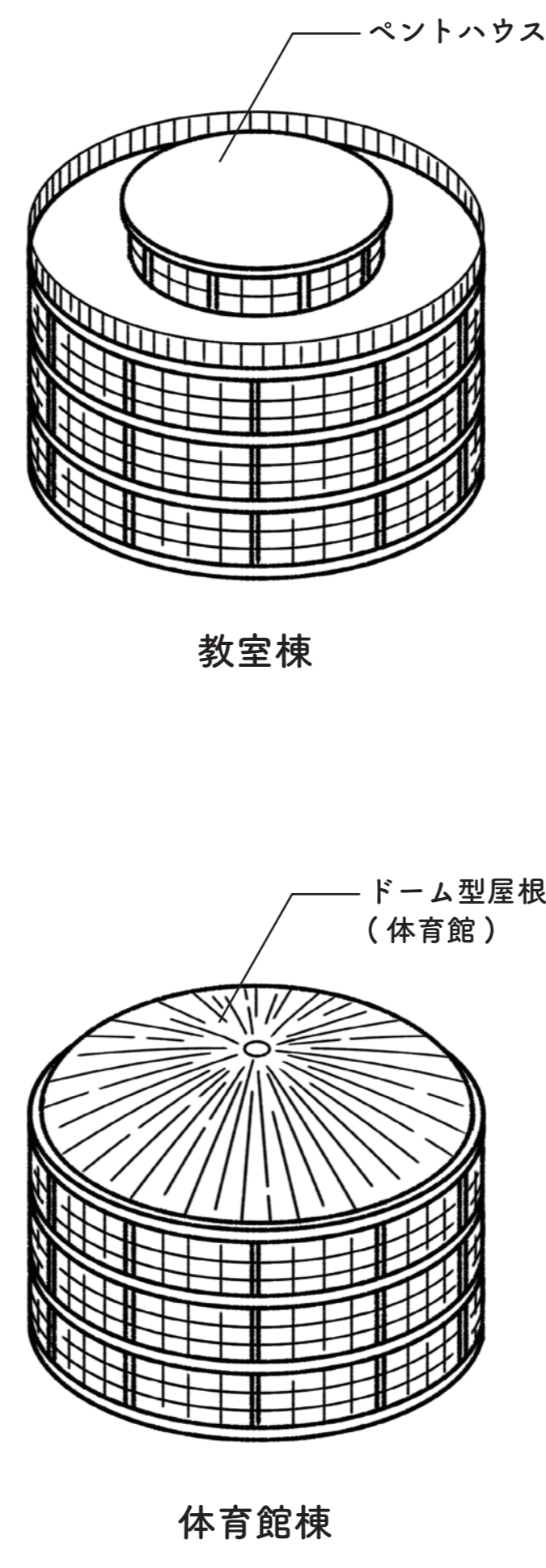
坂本鹿名夫が手がけた円形校舎の中でも数少ない形。鹿児島県に2校あったが、解体されている。

(例) 鹿児島県鹿屋市 鹿屋小学校

3棟連結型

坂本鹿名夫が手がけた円形校舎の中でも、極めて珍しい3つの円が矩形平面の廊下で連結された形状。北海道に1校あったが、解体されている。

(例) 北海道木古内町 木古内小学校



なぜ北海道に円形校舎が多く建てられたのか

北海道には坂本鹿名夫によって設計された円形校舎が8校あることがわかっているが、坂本鹿名夫が北海道の円形校舎を設計することになるまでの経緯は不明である。そこで、北海道と坂本鹿名夫の関連性を探り、北海道の地域性などからなぜ円形校舎が北海道に多く建てられたのかを考察する。

手がかり 01
鳥取県の円形校舎である明倫小学校は、坂本鹿名夫の鳥取出身の親族が口利きしたことで坂本鹿名夫が設計することになったと考えられている。

北海道と関わりのある人物も坂本鹿名夫の親族にいた場合、北海道の円形校舎の建築に関わっているのではないかと推察される。

手がかり 02
坂本鹿名夫の父親は日本赤十字社の副社長だったことがあり、坂本鹿名夫は日本赤十字社などの円形形棟も設計している。

北海道にも坂本鹿名夫によって設計された円形形棟が建てられていた場合、いつ頃に建てられたのかを調べる必要がある。

手がかり 03
北海道で初めて設計されたとされる円形校舎は大成建設によるものであるが、坂本鹿名夫が独立した後に完成している。

坂本鹿名夫が北海道の円形建築を初めに設計したのはいつなのかを調べる必要がある。

手がかり 04
北海道では円形校舎が炭鉱の栄えた地域に建てられたり、同じ地域にいくつも建てられたりしている。

円形校舎が建てられた地域同士の結びつきや共通点はあるのかを調べる必要がある。

調査方法

北海道立図書館、室蘭市図書館、江別市情報図書館で、円形校舎のある各学校の記念誌や各市町村史、人名録から、円形校舎の建設時の状況や坂本鹿名夫の親族について情報を収集した。また、図書館で情報を得ることができなかった部分は、各学校や各市町村のホームページなどから情報収集を行った。

収集した情報から、年表や学校ごとの情報をまとめた表を作成し、手がかりからの仮説の検討を行った。

